

生物多様性って、何だろう？

私たちの衣食住・産業・医療・学術や文化はいろいろな生命から直接的、間接的に成り立っています。そして、その生命の本質的な姿が「多様性（個性があり、つながりあっている）」にあるといえます。
生物多様性とは、「いのちの源」、「くらしの礎」であり、「全ての生命が存在する基礎」なのです。

私たちの暮らしと生物多様性のつながり

1 森林のかん養 基盤サービス

生きものは大気や土壌、水をうみだします。また、生きものがつくった養分は、川を通じて海となり、ゆたかな生態系を育みます。



森と木のはたらき

2 資源・農畜産物 供給サービス

綾北・綾南川に棲むアユ、ウナギ、フナ、スッポン、ヤマタロウガニやタニシは、かつては食卓によくのぼりました。有機農業は、持続的に自然を利用する取り組みの一つです。



アユの塩焼き(綾川荘)

3 伝統・文化・教育 文化的サービス

山の神様や水の神様、田の神様、カッパ伝説など自然を畏れ崇める習俗があります。地域で受け継がれている伝統料理や魚とりは、地域の自然と深くつながっています。



うね火焚き(古屋)

4 暮らしの環境 調整サービス

多様な生きものは、気候の調整、洪水や土砂崩れの制御、ゴミや有害な廃棄物の分解や無害化などに大きな働きをもっています。



水を蓄える

生物多様性を脅かす危機

私たちは、長い時間をかけて自然と折り合いをつけながら、地域社会を構築し、受け継いできました。忍び寄る危機を放っておくと、私たちの心のよりどころである、ふるさとの原形が失われてしまう恐れがあります。

生息環境の 喪失による危機



三面張りの用水路

人間が持ち込んだ ものによる危機



ホテアオイ

人間活動の縮小 による危機



シカの増加

地球環境の変化 による危機

地球温暖化



お問い合わせ

発行:綾町 (平成27年3月)

〒880-1392 宮崎県東諸県郡綾町大字南俣515

TEL 0985-77-1111 (代表)

※この冊子は、環境省の平成26年度生物多様性保全推進交付金(綾BR地域生物多様性調査及び地域戦略策定事業)で作りました。

いのち豊かな綾をめざして

綾町生物多様性地域戦略

概要版



宮崎県 綾町

2015-2061

綾町生物多様性地域戦略って、何だろう？

綾町の豊かな自然の恵みに支えられた人々の営み、それらに対する町民の想いを未来に引き継いでいくため、綾町生物多様性地域戦略をつくりました。行政や町民、綾町を訪れる人、支援する人々が手を取りあひながら、そのつながりを高めていくために、具体的な行動戦略を提案するものです。



目標とする姿

自然生態系農業を続けてきた綾町には、人と生きものの豊かな営みが里に根付いています。
 “森・川・里”と“人の営み”は、いのちの輪でつながっています。人々が手を取りあひながら、このつながりを理解し、大事にする想いを育て、高めていく姿を「人と自然をいのちの輪でつなぐ」にあらわしています。



綾町にすでにある取り組みとの連携をめざします

「綾町憲章」の基本理念や「綾町総合長期計画」のめざすべきまちの姿、「綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（綾プロ）」の取り組みを、“多様で豊かな自然や生きものの保全と人とのつながり”というまなざしを持って実現していこうとするものです。

このことは、結果的に「綾ユネスコエコパーク」の基本理念（人と自然の共生）を追求する道筋となります。

※ 国が法律で定めた生物多様性基本法第13条に基づき地方自治体が策定するものでもあります。



町民を中心とする 様々な主体が参画します

国や県、周辺市町村などの行政と町民、事業者、民間団体、各自治公民館などに理解を求めながら協働で推進していきます。

特に、中心となる町民や自治公民館には、身近な生きものを守る、知恵を伝える、日常生活における意識の向上、三世代をつなぎ地域の自然や文化を支え継承する活動などに取り組むことが必要とされています。

役場の推進機関は、綾ユネスコエコパーク推進室が担います。



具体的に、どんなことをするのか？



自然環境や土地利用、産業、人と自然の関係や暮らしなどの特徴を総合的にとらえた結果、綾町を8地域に区分しました。これら地域に特徴的な資源や文化を活かし、共生していく取り組みをおこなっていきます。



綾町を8地域に区分して計画します

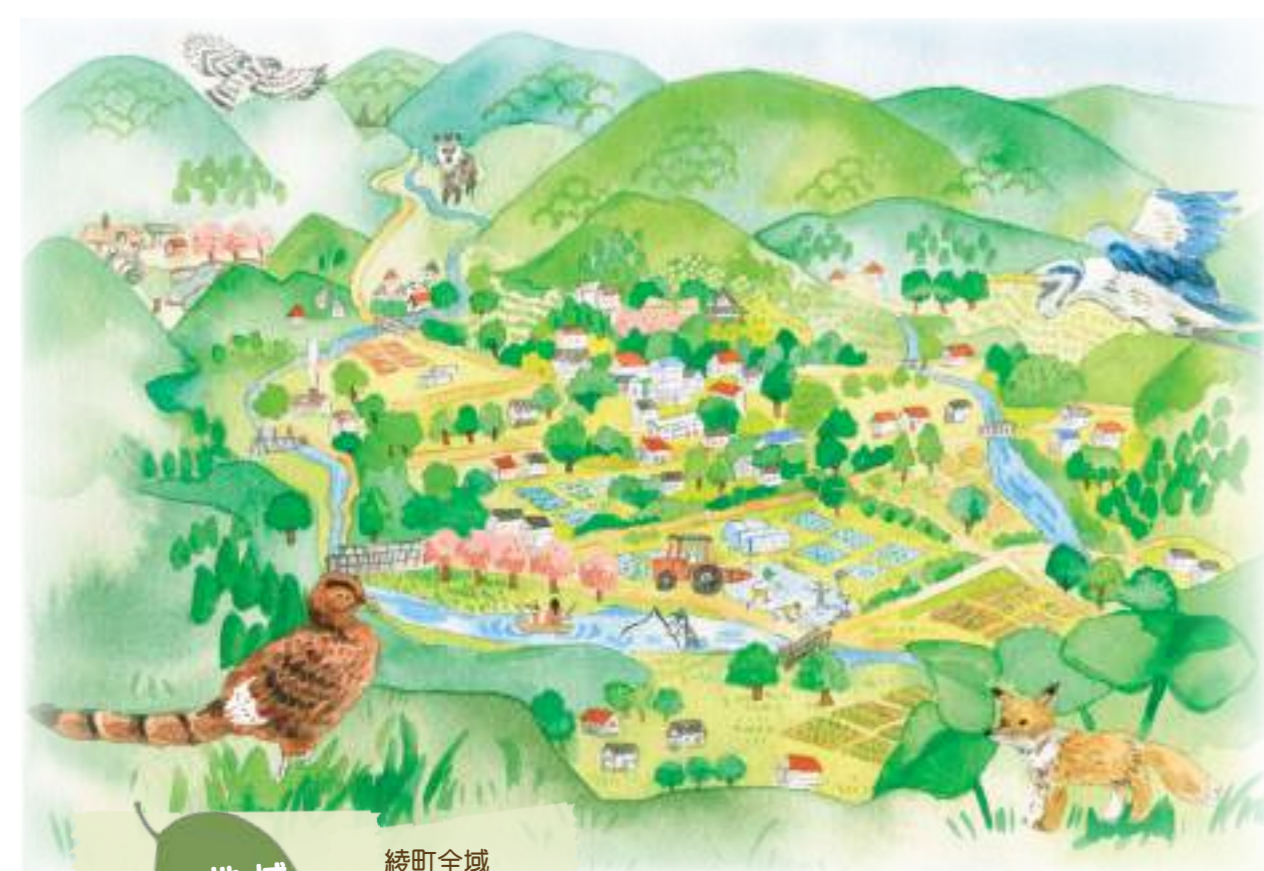


46年かけて取り組みます

実施期間：平成27年4月から平成73年3月（2015～2061年）

- 長期目標に、めざすべき24～46年後の姿を設定します。
- 短期目標に、めざすべき6年後の姿を設定します。

各目標に向けて、46年間で5期に分けた行動計画をつくり取り組みを進めます。第1期は6年（短期目標）、2～5期は10年ごとになり、期が変わるときに見直しをはかります。



A 地域 綾町全域

長期目標1 人と自然のネットワークを構築します

短期目標

- 1) 環境に配慮した産業観光を進める
- 2) 自然の適正利用を維持する
- 3) 自治公民館活動を通じて、地区の文化や自然にまつわる伝統を継承する
- 4) 推進体制を整備する

長期目標2 綾の照葉樹林プロジェクトと連携した
森林の保全と利用をめざします

短期目標

- 1) 核心地域・緩衝地域は、綾プロが保安全管理をおこなう
- 2) 綾プロに積極的に参加する町民を増やす
- 3) 綾プロエリア外は、「環境」と「経済」のバランスのとれた森林づくりをすすめる

B 地域 野生が息づく地域
(人が住んでいない山間地域)



50年先の
未来の

地域ごとの将来像

A～D 地域

長期目標

めざすべき24～46年後の姿

短期目標

めざすべき6年後の姿



C 地域 多様な自然と共生する地域 (麓(野首)・歪道・倉輪・竹野)

長期目標3 多様な自然を体感する
癒しの里をめざします

短期目標

- 1) 多様な自然を活かした滞在型・体験型・合宿型の活動を創出する
- 2) 多様な自然の適切な里山管理をおこなう

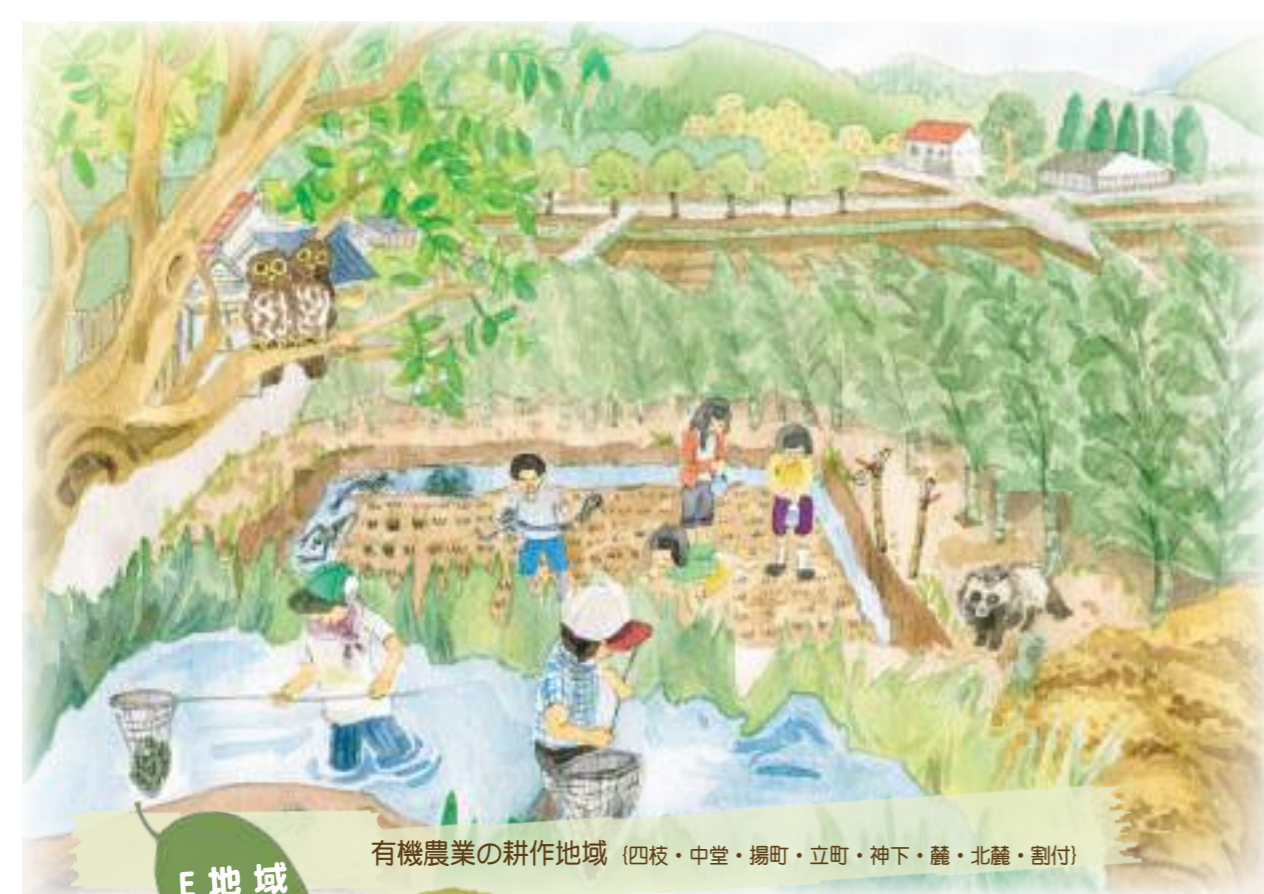
長期目標4 いのち豊かな里山管理のモデル地域をめざします

短期目標

- 1) 生物多様性に根差した里山づくりをめざす
- 2) 里の自然と暮らしを活かした各種ツーリズムを推進する

D 地域 里山と共生する地域
(上畑・宮谷・古屋・昭和・宮原・二反野・久木野々・尾立)





E 地域

有機農業の耕作地域 (四枝・中堂・揚町・立町・神下・麓・北麓・割付)

長期目標5

生きものがにぎわう
有機農業の里をめざします

短期目標

- 1) 多様な生きものが息できる農業基盤を整備する
- 2) 地域の資源を活用した循環型のシステムを推進する
- 3) 綾里の生きものと安心してふれあえる場所がある

長期目標6

「水・緑・くつろぎの空間」
快適で美しい町並みをめざします

短期目標

- 1) 町中心部を水と緑のネットワークでつなぐ
- 2) 町中心部で綾の自然の恵みを体感する
- 3) 綾の自然や歴史、文化を総合的に学べる学習の拠点を充実させる

F 地域

豊かな住環境地域 (東中坪・西中坪・南麓)



地域ごとの将来像

E ~ H 地域

長期目標

めざすべき24~46年後の姿

短期目標

めざすべき6年後の姿



G 地域

自然と共生した工業地域
(酒泉の杜・JA綾町 加工場・宮崎化成~宮崎木材市場(株)・赤江機械工業)

長期目標7

環境経営に取り組む
企業の増加をめざします

短期目標

- 1) 環境に配慮した工場景観をめざす
- 2) 自然を適正に利用する

長期目標8

いこい・やすらぎ・体験の水辺空間を創出します

短期目標

- 1) 豊かな生きものが息し人にやすらぎを与える河川環境をめざす
- 2) 体験型環境学習の場を創出する

H 地域

豊かな河川環境地域 (綾北川・綾南川・浦之名川)

